

テーマ:体験学習から学ぶ日中芸術文化の魅力

「授業の主旨・目的」

ゼミ内容:「なんでも深く研究すれば学問になる」。好奇心旺盛で日中の伝統芸能や芸術そして旅が大好きな学生を対象にしたい。場合によっては国内外での現地調査や文献調査も実施し、音楽人類学と歴史学の視点から音楽芸能や民族地域に隠された多くの謎や暗号を学生と一緒に解読して行きたい。「体験学習」という手法を使いながら一人一人の個性を尊重しながらチームワークを作っていく。

目的:本演習では、文化人類学では最も重視する参与調査を実施しながら歴史資料研究或いは翻訳という手法で進める。論理的に語れる人間を育てることより、企画力と執行力そして柔軟的な思考を持つ国際社会に役に立つ人材を育てる事を目指している。

「授業計画」

演習 A は①紀元前から日中両国間どのような文化交流があったかについて中国社会科学院から出版された『日中文化交流史』の翻訳を通じて学習していく(翻訳アプリを使用)。②現地フィールドワークの一環としてチベット寺院「チャンパリン」を見学

演習 B は①ゼミの学生へ各自関心のある話題(民俗、芸能、体験など)を提供し、400字の要約、レジュメを準備する。演習では担当者の発表後、全員で討論する。この発表によって、卒業論文のテーマを決めてゆく。②就職活動を円滑に進める準備として、国際貢献や社会貢献の実績を作るため、教室での勉強以外に出来るだけ大学内外で開かれる社会活動や国際交流に参加できるチャンスを増やしていく。これらの体験学習により得た知識、経験やデータも今後の就職活動と卒論の執筆に重要な経験として期待している。

「成績の評価方法と基準」

発表・討論への参加 30%、出席率 30%、国際交流活動の参加と参与調査 40%で評価する。

ゼミ内での発表や討論、そして自らの参与調査に関する企画と参加などを評価基準とする。特別な理由がなく3回以上の欠席があると不合格になる。

「教科書」

特になし、その時に応じて参考資料を配布する。

「面接に際しての注意事項」

当演習の受講を希望する学生は面接の時①どうしてこのゼミを希望するか?②自分が興味を持っている分野。③追求したい卒論のテーマなど、面談の時、十分説明できるように準備してください。

★ ポートフォリオを印刷して持ってくること。

★ メールでの予約をお願いします。

haohaoxuexi@isc.chubu.ac.jp

★ 一人 10分~15分の面談時間

